

SAKURA ネット

令和2年(2020年)8月27日

命と人権を守る!

『with コロナ』の時代 自分の生き方を考えよう

いよいよ2学期が始まり、学校には夏休みを終えた生徒たちの元気な姿がもどってきました。とはいえ、まだまだ夏の暑さは終わりそうな気配を見せず、2学期のスタートは熱中症と新型コロナウイルス感染症対策に気をつけながらの日々となりそうです。

さて、8月25日に文部科学大臣から新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて、次のようなメッセージが発信されました。生徒の皆さんへのメッセージの一部を紹介します。(「保護者や地域の皆様へ」のメッセージは裏面をご覧ください。)

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気ができてしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなくても、その後は言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらに皆さんの地域でも感染が広がってしまうかもしれません。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人が早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。

(文部科学大臣メッセージより 抜粋)

「感染症(ウイルス)」に対する不安や怖さは、きっと誰もが抱えていることでしょう。そして誰もが感染しないようにと願い、もし感染したとしても安心して治療に専念したいと思うことでしょう。そうであるのなら、誰もが安心して生活することができる社会をつくらなければなりません。その社会をつくるのは、私たち一人ひとりです。

今回の件に限らず、多くの場合、差別や偏見は「弱い立場」の人に対して向けられがちです。私たちは、状況によって誰もが「弱い立場」になることがあることを自覚した上で、互いに優しい社会をつくらなければなりません。正しい情報をもとに、冷静な判断をして思いやりのある行動をすること。これが結局自分を守ることにつながるのではないかと考えます。コロナ禍の今、日々自分の生き方を問われているような気がします。

Take action for a change!

二学期行事の中止及び縮小について

該当学年の保護者の皆様にはすでにお知らせしておりますが、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大を受け、本年度の修学旅行及び職場体験学習につきましては中止を決定しました。それぞれの行事の意義を考え、なんとか実施できないかと方法を模索してまいりましたが、それも見いだすことができず、生徒及び関係の皆様のご健康と安全を守るための苦渋の決断となりました。いずれについても、代替となる活動を現在検討しているところです。

また、運動会及び文化発表会につきましては、内容を変更し、参加者を制限させていただくなど、規模を縮小して実施することといたしました。本来であれば、地域の多くの皆様にご来場いただき、生徒への応援をいただきたいところですが、本年度は例年どおりの開催は無理であると判断いたしました。参観を楽しみにして下さっていた皆様には誠に申し訳ありませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。



環境整備作業お世話になりました



8月22日（土）の環境整備作業では、暑い中、早朝からご協力をいただき、ありがとうございました。

保護者の皆様の手際のよい作業や、生徒の頑張りのおかげで、予定時刻より早く作業を終えることができました。

美しく整えられた環境のもとで、運動会に向けた練習を始められることを、大変うれしく思っております。

当日は、作業終了の連絡が不十分であったため、全員がそろった状態での閉会行事ができず、申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。また、周辺地域の皆様には、

早朝からの作業でご迷惑をおかけすることとなりましたが、ご理解をいただき、ありがとうございました。準備運営にあたってくださった役員の方々をはじめ、ご協力をいただいた全ての皆様にご心より感謝申し上げます。



Ask what you can do for your school!